



# 桜川保育園

だより

桜川保育園

〒300-0048 土浦市田中三丁目4番5号

【TEL】029-821-8341 【FAX】029-823-0390

【E-mail】sakuragawa@showfukai.com

【URL】https://showfukai.com/

【発行責任者】施設長 宇都野 和司

※掲載写真は、保護者の同意を得ています。



## 新年のご挨拶

施設長 宇都野 和司

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、幸多き輝かしい二〇二二年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

さて、昨年は一昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大という大きな試練に直面した1年となりました。園の行事につきましては、感染症対策により、無観客や規模を縮小しての開催となってしまいましたが、その都度、保護者の皆様にご理解をいただくことができましたこと、改めてお礼申し上げます。

今年は、開園3年目となりますが、未だに先が見えない感染症に対する不安の中で、しっかりとした基礎づくりをしながら、「保育の質向上」と「職員や保護者に愛される保育園」を目指していく所存です。

今後とも変わらぬご支援とご協力を賜わりますよう、よろしくお願いいたします。

園長 宮本 ひろ子

あけましておめでとうございます。昨年も各地で新型コロナウイルスの感染拡大があり、不安な日々を過ごしてきました。ワクチンの接種率も増え、また飲み薬の開発も進んでいると願いながら、私たちにできることとしては、予防対策をきちんと行いながら日常保育を進めていきたいという気持ちになっています。

当園は、開園して3年目を迎えますが、今年こそコロナが終息すると信じ、安心した日々の中できちんと地に足をつけ、我が園の「保育理念」に基づいた保育が実践できる年にしていきたいと考えております。

保護者の皆様と共に手をつなぎ、保育園が居心地の良い場所となり、子どもたちが安心して成長していくことができるよう、職員一同、頑張ってまいりますので、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

# フォト・コーナー



令和4年、新しい年がスタートしました。  
2年続けてコロナ禍での幕開けとなりましたが、子どもたちは、感染を心配する大人の不安をよそに、大きな声で元気に新年の挨拶をしていました。

当園では、「保育方針」として日本の伝統文化や行事を保育活動の中に取り入れることを大切にしていきますので、本年も「フォト・コーナー」で新春の行事等をご紹介します。



邪気払い・神が付く





◆NHKや新聞社の取材もあり、子どもたちは少し緊張気味でした。



◆園庭を真っ白に染めた雪に子どもたちは大喜び。約10cmの雪が積もり、みんなで集めて「ミニかまくら」を作りました。(1月7日)

## 子どもは風の子



◆正月遊びの1つでもある「風揚げ」。制作の時間に自分の好きな絵を描いて作りました。寒風をもろともせず園庭を思い切り走りまわり、風が風を受けて揚がっていく感覚を楽しんでいました。(1月18日)

## ならせ餅

「ならせ餅」は、1月15日の小正月の前日(14日)に、ブナやナラなどの木の枝に実がなるように紅白の丸餅を刺します。  
「20日の風に当てるな(二十日正月)」と言われているので、19日まで飾っておいて1年間の「五穀豊穡」や「無病息災」を祈願する日本古来の伝統行事です。

## 無病息災

# ハロウィン・パーティー 10月28日

昨年に引き続き、園全体で盛大に「ハロウィン・パーティー」を開催しました。  
各クラス、どんな衣装にするかを話し合いました。子どもたち(2歳児から5歳児)は手作りの衣装を着て、各保育室を歩き回りました。  
初めのうちは、0、1歳児が恐る恐るその様子を不思議そうに見ていましたが、お兄さん、お姉さん達から声

をかけられると笑顔で応えていました。  
また、ハロウィン時に子どもたちが口にするおなじみの「トリック・オア・トリート!」の後に、黒いマントの白仮面マンから「ハッピー・ハロウィン」と答えてもらいながら、大好きなお菓子のおもてなしを受けました。  
特別な1日となったことでしょう。



▲はな組 (1歳児)



▲ゆめ組 (0歳児)



▲ほし組 (3歳児)



▲にじ組 (2歳児)



▲そら組 (5歳児)



▲つき組 (4歳児)



# クリスマス会 12月22日

「今年もサンタさんは来てくれるかな～」と心配していた子どもたちでしたが、ホールが暗くなりピカピカのライトが点灯し、音楽とともにサンタクロースとトナカイが登場すると、大歓声がおきました。

サンタクロースへ質問したり、歌や合奏を発表したりと楽しい時間を過ごし、何よりも、サンタクロースからプレゼントをもらう瞬間の子どもたちはとても嬉しそうな表情を見せていました。



## サンタクロースへの質問

ほし組：「どうして子どもにプレゼントをあげるの?」「サンタは何歳なの?」  
つき組：「好きな食べ物は何?」「どこからきたの?」  
そら組：「クリスマス以外は何をしているの?」「そりをひくのはどうしてトナカイなの?」

## ▼にじ組（2歳児）



## ▲はな（1歳児）

## 保育参観 11月16日、18日

昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で「保育参観」を実施しませんでした。今年度は予防対策を万全にし、更に日にちを分けるなどして「保育参観」を実施しました。  
親子で制作活動や運動遊びを通して『親子ふれあい』の時間を過ごし、子どもたちも保護者の皆さんもとても嬉しそうな様子でした。  
左の写真は、はな組（1歳児）とにじ組（2歳児）の保育園での様子です。

# 成長に欠かせない「5領域体験」 お店屋さんごっこ

当園で行っている「お店屋さんごっこ」は、子どもたちにも人気の遊びです。普段経験できないお店屋さん側の立場を経験したり、お客さんとして商品を選ぶことを楽しんだり、多くの「ごっこ遊び」を体験することで、子どもの総合的な学びにつなげることができます。

では、どのような学びにつながるのかといいますと、保育所等における教育内容には「5領域」といわれる「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」の5つがあります。「お店屋さんごっこ」はこの「5領域」を意識して遊びに取り組み、活動を計画するため、たいへん有効と考えら

れています。そこで、この「5領域」について、実際の具体例をご紹介します。

- ◎健康
  - ・お店をするために、必要なものを考えること（見通しを持つこと）
  - ・商品を作る際に、はさみを安全に使うこと
- ◎人間関係
  - ・友だちと相談することや一緒に取り組むこと
  - ・ごっこ遊びのルールを守ること
- ◎環境
  - ・身近なお店の仕組みをまねること
  - ・実際のお店をまねて看板を作ったり、値段を設定したりすること



◆アイスクリームショップ（ほし組）



◆シネマ・ムーンライト（つき組）



◆ゲームセンター（そら組）

- ◎言葉
    - ・「いらっしゃいませ」「〇〇円です」など、必要な言葉を使うこと
    - ・「これください」「いくらですか」など、自分の要求を伝えること
  - ◎表現
    - ・身近な物の色や形、手触りなどを感じ、商品づくりに活かすこと
  - ・お店の人、お客さんを演じること
- このように、子どもが様々なことを考え行うことができる遊びには、「5領域」がバランスよく関わっています。本園では、これからも日常保育の中で、「お店屋さんごっこ」だけではなく、様々な「ごっこ遊び」を取り入れて展開させながら、子どもの想像力を引き出すとともに協調性や社会性を育てていきます。

## コキア「顔」コンテスト 最優秀作品は、 「No.10 くま」



昨年の「花いっぱい運動」の一環として、サルビアやマリゴールドと一緒に育てたコキアが大きく育ったため、職員がアーメキヤラクターのように目や口を飾り付け、「コキア「顔」コンテスト」を開催しました。

この催しは「ハロウィン仮装イベント」に合わせて行ったもので、当園に通う子どもたちと職員が審査員になり、各自の好みのものを投票して「最優秀作品」や「優秀作品」などを決定しました。飾りを付けて紅葉したコキアに、保護者からは「毎日

保育園に行くのを楽しみにしています」「遠くに行かなくてもここで見られる」との声や、子どもたちも「かわいい！」「帰りたいくない！」など、コキアに対する愛着の声が寄せられました。

登降園時に保護者の皆様と一緒にご覧いただき、子どもたちから55票の投票があり、職員（32人）も自分の作品以外に投票する方法で審査に加わり、投票総数は257票でした。審査にご協力いただきました保護者の皆様、誠にありがとうございました。結果は、次のとおりです。

- 最優秀作品  
「くま」 39票、優秀作品  
「トトロ&ハート」 32票、3位「電門禰豆子」 23票、4位「アンパンマン」 20票、5位「煉獄杏寿郎」 18票でした。

